

2020年11月29日

株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

## FIA-F4 選手権 第12戦 決勝上位コメント

### ■ 第12戦 決勝1位 平木玲次【#62 HELM MOTORSPORTS F110】



「最後の最後に勝つことができました。開幕戦でも勝っているのが最初と最後を飾ることになりましたね。今日のスタートはまずまずで、トップでレースを始めることができました。スタートしてから1~2周は、なかなかタイヤを上手く温めることができませんでしたが、そんな状態でもブッシュしてギャップを広げることが成功しました。そしてタイヤが温まってからも2位の平良選手（No.35 平良響）との差はキープできました。開幕戦で勝ってから、なかなか2勝目を挙げることはできませんでしたが、この富士は開幕戦で勝っているのだから自分との相性も良いはずだと自分に言い聞かせ、第10戦のトラブルもしっかり対処して勝つことができました。この1勝は大きな自信に繋がると思います」

### ■ 第12戦 決勝2位 平良 響【#35 TGR-DC RS トムススピリット F4】



「11連勝は無理でした。でも6番手スタートで2位にまで進出でき、自分のペースで走りきれたので、納得すべきレースでしたね。スタートしてからタイヤが温まるまではリスクを冒さないようにペースを抑えて走りましたが、（優勝した）平木選手（No.62 平木玲次）は序盤からブッシュしていて、そこでできたギャップを最後まで詰めることができませんでした。平木選手のペースも速かったですね。それでも絶対にミスしない、とメンタルな部分も含めて自分らしいレースになったと思います。来シーズンのことは、何もまだ決まっていますが、どんなカテゴリーに行ってもまた記録が作れるような活躍をしたいですね」

### ■ 第12戦 決勝3位 伊東黎明【#80 OTG DL F4CHALLENGE】



「初めての表彰台に立つことができよかったです。開幕戦で5位に入りそこから入賞を続けてポイントもそれなりに積み上げてきましたが、いつも表彰台まであと一步のところに留まってしまいました。“最終大会こそは”と思っていましたが、昨日の第1レース（第10戦）では自分のミスから他人に迷惑をかけただけでなく、自分自身のレースも台無しにしてしまいました。それを反省して今日の最終戦に臨みました。スタートで前方のグリッドにいたクルマを2台パスして、良い滑り出しで、その後、平良選手（No.35 平良響）の直後についたのですが、ついていくのが精一杯でした。だから初の表彰台で嬉しい反面、悔しさも残ったレースでした」

### ■ 第12戦 インディペンデントカップ 1位 齋藤真紀雄【#96 CS Marketing AKILAND】



「今日は路面温度がとても低くて、フォーメーションラップで（滑りやすいと）危険を察知しました。だからスタート直後の1コーナーですべてが決まると思っていました。それでスタート直後は慎重に走って、ポールスタートだったのに齋藤選手（No.96 齋藤真紀雄）に先行されてしまいました。でもそれも想定内で、じっくりとタイヤを温めてから自分のペースを確認してから1コーナーでスパッと齋藤選手を抜くことができました。少しでもポイントを獲得すればチャンピオンになることは分かっていたのですが、しっかりと勝ってチャンピオンを決めることができよかったです。来年は3年連続のチャンピオンを狙います」